

[print](#) | [export](#)

Publication number: JP2002041858 A2
Publication country: JAPAN
Publication type: APPLICATION
Publication date: 20020208
Application number: JP20000220033
Application date: 20000721
Priority: JP20000220033 20000721 ;
Assignee^{std}: HORIKOSHI AKIO ;
Inventor^{std}: HORIKOSHI AKIO ;
International class¹⁻⁷: G06F17/60 ;
International class⁸: G06Q30/00 20060101 I C ; G06Q30/00 20060101 I A ;
Title: DISCOUNT ACTION SYSTEM

Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To attain the excitation of an auction system by stimulating the bidding will of a purchaser. SOLUTION: This discount auction system is provided with a bidding receiving means 2 for receiving a bid from the purchaser, a storage means 3 capable of storing display information showing discounting of a bidding price when there is no display information of an auction target, there is no information concerning the bidding price and there is no bidding, a communication means 4 capable of sending the information held in the storage means 3 to the purchaser and a price updating means 5 capable of updating the display information concerning the bidding price to a bidding price lowered from the beginning. Thus, when there is no bidding, the bidding price (bidding value) held in the storage means 3 can be gradually decreased from the first price.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-41858

(P2002-41858A)

(43) 公開日 平成14年2月8日(2002.2.8)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 1 6

F I

G 0 6 F 17/60

データベース(参考)

3 1 6 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-220033(P2000-220033)

(22) 出願日 平成12年7月21日(2000.7.21)

(71) 出願人 500341090

堀越 昭夫

兵庫県西宮市戸崎町5番18-201号

(72) 発明者 堀越 昭夫

兵庫県西宮市戸崎町5番18-201号

(74) 代理人 100086346

弁理士 鯨島 武信

Fターム(参考) 5B049 AA06 BB36 CC00 CC31 FF03

GC04

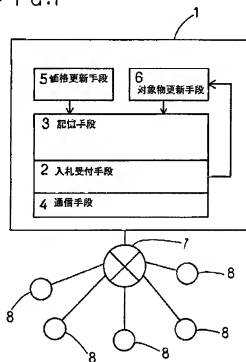
(54) 【発明の名称】 値下げオークションシステム

(57) 【要約】

【課題】 購買者の入札意欲を喚起して、オークションシステムの盛況を図る。

【解決手段】 本願発明に係る値下げオークションシステムは、購買者からの入札を受け付ける入札受付手段2と、少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段3と、記憶手段3が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段4と、せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段5とを備えたことを特徴とする。このような構成を採ることにより、入札がない場合、価格更新手段5によって、記憶手段3が保持するせり価格(せり値)を、当初の価格から徐々に減じて行くように変更することができる。

F I G . 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】 購買者からの入札を受け付ける入札受付手段と、

少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段と、

記憶手段が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段と、

せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段と、を備えたことを特徴とする値下げオークションシステム。

【請求項2】 オークション対象物の表示情報を更新する対象物更新手段を備え、

上記の入札受付手段は、入札者の特定などの、入札情報の取得を可能とし、

上記対象物更新手段は、記憶手段に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することが可能なものであることを特徴とする請求項1記載の値下げオークションシステム。

【請求項3】 未入札の状態のまませりの下限となる最低せり価格に到達したとき、記憶手段に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することが可能なことを特徴とする請求項1又は2記載の値下げオークションシステム。

【請求項4】 購買者からの入札を受け付ける入札受付手段と、

少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段と、

記憶手段が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段と、

せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段とを備え、価格更新手段は、上記の開始当初のせり価格以上での入札がなかった場合に、上記の通り、せり価格についての表示情報を当初より値下げした表示情報とするものであることを特徴とする値下げオークションシステム。

【請求項5】 上記の記憶手段に、現在のせり価格に到達した時刻の表示情報を入力することが可能であることを特徴とする請求項1乃至4の何れかに記載の値下げオークションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、値下げオークションシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のネット上の落札のシステムについては、実際のオークションと同様、購買者の入札のうち、最も高値を付けた者に落札する仕組みを採用したものが一般的である。

【0003】ところが、このようなシステムでは、どこまで値が上がって落札されるのかの予想は不可能であり、購買者において、オークションにかけられた対象物に対し、興味はあっても、予算内で落とすことができるか否かの判断が困難なものとなっている。このような状況が、このシステムを利用しようとする意欲を削ぐ要因となっている。このため、システム運用者において、購買意欲の高い購買者に対し、システム利用のインセンティブが働かなくなるといった危惧が生じた。

【0004】逆に、入札の申出が後を絶たない場合、オークションの開催時間の多くを、その対象物のせりで占めることとなり、システムの運用効率を低下させ、システム運用者にとって頭の痛い問題となる。更に、人気のない対象物について、通常のオークションでは、当初価格で入札希望者がなければ、そのまま流札となってしまふ。このため、早期に売りさばかなくてはならない対象物に、従来のようなオークションシステムを利用していたのでは、オークションで決着が付かない場合、別途の販売方法を講じなくてはならない事態にしばしば迫られる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本願発明は、オークションシステムにおいて、オークション対象物の落札を早めるシステムを提供することによって、購買意欲の高い購買者に対し、システム参加の興味を喚起すると共に、対象物の早期の完売の可能性を高めて、上記の課題の解決を図るものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本願第1の発明に係る値下げオークションシステムは、購買者からの入札を受け付ける入札受付手段2と、少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段3と、記憶手段3が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段4と、せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段5とを備えたことを特徴とする。尚、ここでいうオークション対象物とは、「物」に限らない。即ち、有形、無形といった形態を問わず、せりの対象となるもの全般を指す。また購買者とは、上記のせりの対象に依りて、購買希望者や契約希望者という意味である。更に、ここでいう更新とは、情報の書換えの他、情報の追加、複数の情報中特定の情報に付された指標（ポインタ）の位置を別の情報へ変更することを含むものである。

【0007】上記の構成を採る本願第1の発明に係る値

下げオークションシステムでは、通信手段4によって、記憶手段3が持つ上記の情報を、各購買者の端末に送ることによって、せり価格等の情報を購買者に提示することが可能であり、入札受付手段2にて購買者の入札希望を受け付けることができる。このシステムにおいて、入札がない場合、価格更新手段5によって、記憶手段3が保持するせり価格(せり値)を、当初の価格から徐々に減じて行くように変更することができる。従って、購買者は、購買可能な価格まで下がったときに、入札受付手段2にて、入札の申出を行うことができる。

【0008】本願第2の発明に係る値下げオークションシステムは、上記本願第1の発明に係る値下げオークションシステムにおいて、オークション対象物の表示情報を更新する対象物更新手段6を備える。また、上記の入札受付手段2は、入札者の特定などの、入札情報の取得を可能とする。上記対象物更新手段6は、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することが可能なものであることを特徴とする。

【0009】本願第2の発明に係る値下げオークションシステムは、上記本願第1の発明に係る値下げオークションシステムの作用を得ると共に、対象物更新手段6によって、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することができる。記憶手段3の更新された情報は、通信手段4によって、購買者の端末に送ることができ、これにて、当該オークション対象物についてのオークションが終了したことを購買者に提示することができる。また、入札受付手段1にて、購買者の入札の申出を受け付ける際に、購買者を特定する情報を取得して、契約や対象物の引渡などのその後の売買手続を円滑に行うことを可能とする。

【0010】本願第3の発明に係る値下げオークションシステムでは、上記本願第1又は第2の発明に係る値下げオークションシステムにおいて、未入札の状態のまませりの下限となる最低せり価格に到達したとき、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することが可能であることを特徴とする。

【0011】このような構成を採る本願第3の発明に係る値下げオークションシステムでは、上記本願第1又は第2の発明に係る値下げオークションシステムの作用を得ると共に、未入札の状態のまませりの下限となる最低せり価格に到達したときに、記憶手段3の情報を操作することにより、当該オークション対象物を、オークションから除外することができる。

【0012】本願第4の発明に係る値下げオークション

システムは、購買者からの入札を受け付ける入札受付手段2と、少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段3と、記憶手段3が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段4と、せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段5とを備える。価格更新手段5は、上記の開始当初のせり価格以上での入札がなかった場合に、上記の通り、せり価格についての表示情報を当初より値下げした表示情報とするものである。

【0013】本願第4の発明に係る値下げオークションシステムでは、オークションの開始当初に、通常のオークション(2以上の購買者にその価格のせりあい)をさせ、最高値を付けた人になること)を行い、入札を受けなかった場合に、本願第1の発明に係るものと同様の、記憶手段3のせり価格の表示情報を値下げして、値下げオークションを開始可能とする。

【0014】本願第5の発明に係る値下げオークションシステムは、上記本願第1乃至第4の発明の何れかについて、記憶手段3に、現在のせり価格に到達した時刻の表示情報を、入力することが可能であることを特徴とする。

【0015】このような構成を採ることにより、本願第5の発明に係る値下げオークションシステムでは、上記本願第1乃至第4の何れかの発明に係る値下げオークションシステムと同様の作用を得ると共に、購買者の端末に対して、現在のせり価格に到達した時刻の表示情報を送ることができる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づき本願発明の実施の形態を説明する。図1乃至図3は本願発明の一実施の形態を示す。図1は、この値下げオークションシステムの概要を示すブロック図である。図2は、そのシステムのハード構成を示す説明図である。図3は、オークションの流れを示す説明図である。尚、以下ハードウェアのことを単にハードと呼び、ソフトウェアのことを単にソフトと呼ぶ。以下、

- 1) 本願発明に係る値下げオークションシステムの概要
- 2) この実施の形態に係る値下げオークションシステムのハード構成
 - a) このシステム(運用者)のハード構成
 - b) 購買者のハード構成
- 3) この実施の形態に係るシステムによる値下げオークションの流れ
 - a) システム運用者におけるオークション開始前の準備
 - b) 対象物についてのオークションの開始
 - c) 対象物についてのオークションの終了
 - d) 補足事項
- 4) 他の実施の形態

の順で説明する。

【0017】1) 本願発明に係る値下げオークションシステムの概要

本願発明に係る値下げオークションシステム1(以下システム1という。)は、図1に示すように、購買者からの入札を受け付ける入札受付手段2と、少なくともオークション対象物の表示情報、せり価格についての情報及び入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を保持することが可能な記憶手段3と、記憶手段3が保持する情報を購買者の端末に送ることが可能な通信手段4と、せり価格についての表示情報を当初より値下げしたせり価格に更新することが可能な価格更新手段5と、オークション対象物の表示情報を更新する対象物更新手段6とを備える。上記の入札受付手段2は、入札者の特定などの、入札情報の取得を可能とする。上記対象物更新手段6は、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更することが可能なものである。また、入札が無かった場合も、対象物更新手段6にて、流札した後の処理として、同様の記憶手段3の情報の操作を行うことができる。更に、このシステム1は、この価格更新手段5にて、記憶手段3に、現在のせり価格に到達した時刻の表示情報を入力・変更することが可能である。具体的には、システム1の各手段は、コンピュータ又は当該コンピュータに接続された周辺機器と、そのコンピュータに導入されたソフトとにて、実現されるものであり、当該システム1は、購買者の端末8に接続されたインターネット等の双方方向の通信が可能な通信回路7に、接続されることによって機能する。

【0018】2) この実施の形態に係る値下げオークションシステムのハード構成

図2を用いて、このシステムのハード構成及び、システム周辺のハード構成について、説明する。

a) このシステム(運用者)のハード構成

まず、このシステム1が構築されたサーバ11の構成について説明する。10は、このシステムのサーバが設置された施設を示す。図2へ示すように、サーバ11は、サーバ・コンピュータ12(以下単にコンピュータ12という。)&、コンピュータ12が備えるハードディスクなどの記憶装置13と、キーボード或いはマウスなどの入力装置14と、CRTなどの表示装置15と、電話などの通信回線を用いたインターネットなど通信回路7と接続可能なモデムなどの通信装置16とを備える。又必要に応じてプリンタなどの印刷手段を設けておく。この実施の形態において、記憶装置13と、通信装置16とは、コンピュータ12に内蔵されている。但し、これらの装置については、コンピュータ12と別体のものを用いて実施することも可能である。このシステム1において、上記の、コンピュータ12、記憶装置13、入力

装置14、表示装置15及び通信装置16にて、システム1の入札受付手段2、記憶手段3、通信手段4、価格更新手段5及び対象物更新手段6が、構成されている。即ち、ハード面において、システム1の記憶手段3は、主として上記の記憶装置13の記憶領域にて構成され、入札受付手段2及び通信手段4は、主として上記の通信装置16にて構成され、価格更新手段5及び対象物更新手段6は、主として上記の記憶装置13と入力装置14にて構成されている。更に、記憶手段13には、OS(オペレーティング・システム)や、通信ソフト、ブラウザなどのシステム運用ソフトが導入される。また、表示装置15にて、記憶手段3の内容を確認することができ、また、価格の変更や対象物の変更に際して、表示装置15を見ながら、入力装置14にて、そのような作業を行うことができる。

【0019】b) 購買者のハード構成

20…20は、購買者の端末21が設置された場所を示す。端末21は、購買者のオフィスや自宅など、上記のサーバ11が設置された施設10に対して遠隔の場所20に置かれている。端末21は、端末コンピュータ22と、端末コンピュータ22が備えるハードディスクなどの記憶装置23と、キーボード或いはマウスなどの入力装置24と、CRTなどの表示装置25と、モデムなどの通信装置26とを備える。通信装置26は、インターネットなどの電話等の通信回線を用い双方方向の通信が可能な通信回路7と接続されている。この実施の形態では、記憶装置23と通信装置26とは、端末コンピュータ22に内蔵されているが、この他、端末コンピュータ22の外部に接続される形態のものであっても実施可能である。上記の記憶装置23の記憶領域には、OSや通信ソフト、ブラウザなどが導入されている。購買者は、サーバ11のコンピュータ12の記憶装置13にある情報を、インターネットを通じて、表示装置25で閲覧することができ、又、端末21の入力装置24を使用して、サーバ11の入札受付手段2へ入札の申込を行うことができる。

【0020】3) この実施の形態に係るシステムによる値下げオークションの流れ

a) システム運用者におけるオークション開始前の準備
図3に示すように、ステップ100において、システム運用者は、オークションの開始前に、先ずサーバの記憶手段3内へ、入力装置14によって、少なくとも、i) オークション対象物の表示情報、ii) せり価格についての情報及び iii) 入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報を入力する。

【0021】i) オークション対象物の表示情報

オークション対象物の表示情報には、オークション対象物の名称など、オークションに掛ける対象物を特定するための情報が含まれる。例えば、工業製品の場合、商品の名称や型番などである。当該表示情報中には、更に、

購買者が購入するか否かの判断に供する情報を付加するのが好ましい。例えば、オークション対象物の表示情報に、在庫数や、対象物の画像データ、カタログスペックなど性能や品質に関するデータ、食品などでは、産地、生産時期に関するデータ等を含めておけば、購買者が購入するか否かの正確な判断を行う上で判断を容易とする点で好ましい。

【0022】ii) せり価格についての表示情報

上記のオークション対象物の当初の（オークション開始時）の価格を、表示情報として、記憶手段3へ入力する。

【0023】iii) 入札がない場合にはせり価格が値下がりするものである旨の表示情報

この表示は、このシステムの運用の仕方、即ちオークションの方法を、購買者に告知するものである。この表示情報中の説明に従って、オークションが運用されることになるので、この表示情報の提示は、必須の入力事項として重要である。

【0024】b) 対象物についてのオークションの開始図3へ示す通り、上記のステップ100に続くステップ101において、値下げオークションが開始される。この実施の形態において、ステップ100以外の各ステップについての、システム運用者の操作は、サーバ11によって自動的に行われる。ステップ101において、記憶手段3内の情報中、少なくとも、上記のi)、ii)及びiii)の情報について、インターネット（通信回路7）に接続されているコンピュータから閲覧可能となっている（アクセス可能な状態となっている）。

【0025】ステップ101にて値下オークションの受け付けが開始された後、入札受付手段2にて、購買者からの入札の受付が可能となり、ステップ102にて、入札の申出の有無の判定が行われる。購買者からの入札の受付については、入札受付手段2において、入札の申出をする者に、入札の申込者特定する情報（氏名・住所など）、申出個数などの必要な事項を入力させるものとする。即ち、通信手段4を介して購買者の端末に表示される表示情報中には、上記の事項の入力欄が設けられており、購買者は、自己の端末から、システム1の記憶手段3にアクセスして、オークションの状況を確認することができると共にこの欄に入力することによって、入札受付手段2を介して、入札の申出を行うことができる。ステップ102の判定において、所定時間、購買者からの入札の申出がない場合、ステップ103に移行して、ii)のせり価格についての表示情報を、価格更新手段5により、値下げするように更新する。例えば、この値下げについては、予め設定した所定の時間の経過があっても入札の申出がない場合、行うものとする。そしてステップ104にて、最低せり価格との照合が行われ、最低せり価格に到達したと判定すると、ステップ104からステップ107に移行する。ステップ104にて、未だ

最低せり価格に到達していないと判定すると、ステップ101に戻って、更新にて値下げしたせり価格により再度受け付けが行われる。購買者は、この場合も、更新されたii)の情報について、購買者の有する端末21の表示装置25から知得することができる。

【0026】上記の値下げした情報の表示を、更に所定時間行っても、入札の申出がない場合、ステップ102から、再度ステップ103へ移行して、更なる値下げを行う。即ちステップ101に戻って入札の申出を待機する状態となる。従って、入札の申出がない状態が続けば、ステップ101とステップ104との間をループすることとなる。通常、最初の値下げで、最低せり価格に到達することはないので、このようなループが繰り返された後、最低せり価格に到達して、ステップ107への移行が行われることになる。

【0027】上記のステップ102において、入札の申出を受け付けたとき、ステップ105へ移行する。ステップ105において、対象物の在庫数から入札の申出があった個数を減じる。ステップ106において、在庫数が無くなったと判定した場合、ステップ107へ移行する。ステップ106において、在庫数に残りが有る場合再びステップ101に戻る。在庫数が0になるまで、このステップ106からステップ101へのループが繰り返される。

【0028】c) 対象物についてのオークションの終了上記の通り、オークション中、購買者の端末からの入札申出をインターネット（通信回路）を介して入札受付手段2が受け付け、その対象物について在庫数が0になった時点（ステップ106）で、ステップ107へ移行し、オークションを終了する。また、既述の通り、入札の申出がないまま、或いは在庫を抱えたまま、最低せり価格に到達した場合（ステップ104）も、ステップ107に移行して、オークションを終了する。

【0029】終了の方法は、ステップ107において、システム運用者が対象物変更手段6によって、記憶手段3中の情報を更新することにより行う。具体的には、システム運用者は、上記対象物更新手段6にて、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更する。流札した場合、即ち、在庫がある状態で最低せり価格に到達して終了した場合も、その旨を表示するように、記憶手段3の情報を操作するよりしてもよいが、このような表示に代えて、対象物更新手段6にて、流札した後の処理として、上記と同様、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは、他のオークション対象物の表示情報に変更するものとしても実施可能である。

【0030】尚、上記の実施の形態において、システム運用者は、幾らまで、せり価格が下落すれば、入札を希

望するという、購買者からの申入れ（予約）を事前に受けて、そのような前情報に従い、対象物を処理するものとすれば、購買者の購買意欲を高める点で効果的である。この場合、入札受付手段2にてこれを受け付けることが可能な予約欄即ち、希望の予約価格の入力欄を設けておく、このように、予約を受け付ける場合も、予約の有無に拘らず、値下げオークションは、開始される。即ち、事前の予約で在庫の残が無くなったとしても、予約のせり価格に到達するまで、上記の値下げオークションが行われる。予約のせり価格に到達するまでに、入札の申出が有り在庫が無くなれば、ステップ107にて、オークションは終了する。この場合、予約は、空振りとなる。予約がある場合に、既にこのような入札の申出が入っていることについての表示情報を、記憶手段3に記録することを可能にして実施すれば、買い気配（買いの声）が弱まっていることを告知することができ、よりオークションに対する関心を高めることができる。その際、入札の申出価格については、告知しないようにすれば、より高い値での買い気配を喚起することができる。但し、このような入札の申出価格も表示情報として告知するようにしても実施可能である。また、上記の買い気配の告知に際しては、申出人数を表示するようにしても効果的である。また、対象物の申出個数を表示するようにしても効果的である。更に、必要に応じて、入札申出者を特定することが可能な情報を告知するようにしても実施可能である。このように予約を可能とする場合において、オークションの開始からせり価格が順次下落して行き、予約のせり価格に到達したとき、対象物の在庫に残があれば、予約が有効となる。そして、予約にて対象物の在庫が無くなった場合、オークションを終了する。終了の方法については、システム運用者が対象物変更手段6によって、記憶手段3中の情報を更新することにより行う。具体的には、上記と同様、システム運用者が、上記対象物更新手段6にて、記憶手段3に対し、入札があった旨の表示情報を入力するか、オークション対象物の表示情報を削除するか、或いは他のオークション対象物の表示情報に変更する。予約を差し引いた在庫に、残がある場合は、値下げオークションを続行する。この場合は、既述のステップ107にてオークションを終了する。上記の予約が複数入った場合、例えば、在庫数が3個の対象物に対して、同じ価格で、2個の申し込みが2名からあった場合、供給できる数量では、1個足りなくなる。そのような場合は、先に受け付けた者を優先する。また、異なる価格での予約があった場合に、先に受け付けた者を優先するようにしてもよく、高値で申出を行った者を優先するようにしてもよい。

【0031】d) 補足事項

また、上記の実施の形態において、ステップ100以外の各ステップについては、サーバ11が、自動的に行うものとしたが、この他、システム運用者が、必要に応じて

て、手作業で行うものとしても実施可能である。システム運用者は、値下げ速度（一回の値下げ額）を、一定時間経過に定額下げるなど、規則性を持たせることによって、購買者に対して、その対象物についての値下りの予想を行い易いものとすることができる。この他、値下げの額は、在庫量の変化によって変動するものとしてもよい。上記の規則性とは、例えば、開始時のせり価格を、1万円とし、対象物を完了するまで、1日経過するごとに、2千円づつせり価格を下げて行く、といったことである。このように、入札の申出がない状態において、所定時間（日数）の経過によって一定額、せり価格を下げるものとすれば、例えば売完されていない場合、2日目には、せり価格が幾らになっているか、購買者は予測することができる。

【0032】システム運用者において、上述の通り、値下げの下限は、最低せり価格として、当初より設定しているのであるが、この最低せり価格についての情報は、購買者に提示しないものとするのが望ましい。例えば、最低せり価格を提示してしまうと、その額であっても購入能力のない購買者が早々にオークション（ホームページ）から、立ち去ってしまうといった事態を抑制することができるからである。

【0033】最低せり価格について、具体的には、開始時のせり価格を、1万円とし、1日経過するごとに、2千円づつせり価格を下げて行き、せり価格が4千円まで低下すれば、この対象物についてそれ以上オークションの継続を行わないものとするのである。この場合、4千円が最低せり価格である。

【0034】この他、オークションへの参加を希望する購買者は、事前に受け付けて、受け付けた購買者に対して事前にIDを付与し、オークションでの入札の申し込みなどは、IDによって特定するものとしても実施可能である。この場合において、上記のiii)の情報の、購買者への告知を、参加受け付け時に行い、オークションでは、iii)の情報（値下げオークションである旨の表示情報）を表示しないものとしても実施可能である。

【0035】更に、上記のi)～iii)に加え、システム運用者は、価格更新手段5にて、せり価格の時刻についての表示情報を記憶手段3に記録することを可能としておく。このような情報を、購買者が知得することを可能としておけば、より購買者において、価格の動向を知ることが容易となり、オークションの推移をより的確に把握することができる、オークションに対する関心を高めることができる。

【0036】せり価格の値下げのタイミングや額については、上記のような規則性を持つものとして、オークションの状況に応じて、システム運用者が決定し、この決定に基づき、価格更新手段5の操作により、値下げ額を決定するものとしても実施可能である。この場合は、状況に応じて臨機応変に対応することが可能である。具

体的には、値下げを、サーバ11に任せてしまうのではなく、システム運用者が、入力装置14により、手作業で行うものとするべし。但し、値下げ額を前述の通り規則的に下げるものとすれば、この値下げ操作を自動化でき、システムの運用の自動化といった点で効果的である。

【0037】尚、この値下げオークションは、売手側の都合で、売れ残ったものを値引きして再度販売するという従来の処分販売と異なり、即ち、購買者の意向を無視して、売手側にて再販価格を一方的に決定して任意に売り捌くというものと異なり、既述の通り、オークションの方法として、事前に、対象物に対して入札がなければ必ず値が下がることを購買者に告知して、入札の申出の早さを競り合わせるものである。

【0038】又、上記の実施の形態において、予定の価格まで、せり価格が下がったことを見落とした場合などに、購買者が再び現在のせり価格よりも高い値をつけて入札の申出を行うことを可能として実施してもよい。即ち、購買者が値を戻して入札を申し出た場合などの、現在のせり価格よりも高値を付けて入札を申し出た場合には、入札受付手段2にて、このような申出を受けることを可能とする。具体的には、入札の受付に際して、入札受付手段2において、入札の申出を行う者に入力させる。入札の申込者特定する情報、申出個数などの必要な事項などの入力欄と共に、上記の希望の申出価格の入力欄も設けておく。

【0039】値下げオークションにおいて、在庫数が3個の対象物に対して、同じ価格で、2個の申し込みが2名からあった場合も、供給できる数量では、1個足りなくなる。そのような場合は、先に受け付けた者を優先する。一方、上記のように高値を付けて入札の申出を可能とするのであれば、先に受け付けた者を優先するようにしてもよく、高値で申出を行った者を優先するようにしてもよい。上記の高値で申出を可能とする場合、前述の予約を可能とする場合と同様、買い気配の告知を行うようにして、実施すれば効果的である。この場合も、入札の申出価格については、告知しないようにすれば、より高いせり値での買い気を喚起することができる。但し、この場合も、このような入札の申出価格も表示情報として告知するようにしても実施可能である。また、上記の買い気配の告知に際しては、申出人数を表示するようにしても効果的である。更に、対象物の申出個数を表示するようにしても効果的である。この他、必要に応じて、入札申出者特定することが可能な情報を告知するようにしても実施可能である。

【0040】上記の通り、現在のせり価格よりも高値を付けて入札を申出することを可能とする場合において、複数の入札が申出があった際には、入札価格を優先するようにしてもよく、入札時期の早さを優先するようにしてもよく、また、期間を区切って、同一期間内では、入札

価格を優先して落札し、期間が異なれば、早い期間の申出を優先するようにして実施するようにして実施することも可能である。

【0041】4) 他の実施の形態

上記の実施の形態において、せり値は、原則として（補足事項で述べた値下げオークション中での高値の申出の場合を除き）、値下げの方向にしか動かないものであった。この他、入札の申出により、ステップ106において、在庫が無くなった場合、ステップ107にてオークションを終了するのではなく、図3の点線で示す通り、ステップ108に移行して通常のオークション（競り合うことによりせり値が上がるオークション。以下値上げオークションという。）を開始するものとしても実施可能である。即ち、図3で示す既述の実施の形態に係る値下げオークションにおいて在庫が無くなった場合、（オークション自体を終了するのではなく）値下げオークションを終了して、値上げオークションへ移行するものとして実施可能である。

【0042】詳しくは、図4に示す通り、ステップ108は、値上げオークションを実行するための、複数のステップより構成される。図3のステップ106にて、在庫無しと判定すると、ステップ108内のステップ109に移行して、値上げオークションの受付が開始される。続いてステップ110で、応札の有無が判定される。応札が有った場合、ステップ111にて、前述の1i)のせり価格の表示情報が、応札した購買者の申し出たせり価格に更新される。この状態で、購買者の更なる応札を受け付ける。即ち、再度ステップ110にループして、応札の有無が判定される。応札が続く限り、ステップ111からステップ110へのループが続き、せり価格が値上げ方向に更新される。ステップ110にて、応札が無しと判定されれば、ステップ112へ移行して、対象物は落札される。

【0043】上記とは逆に、値上げオークションを先に、在庫が生じた場合に、値下げオークションへ移行するものとしても実施可能である。値下げオークションと値上げオークションとの組み合わせは、上記以外の形態を採るものであっても実施可能である。

【0044】この実施の形態において、システム運用者が、予めオークション対象物の情報を記憶手段3に設定し、また、オークション中のオークション対象物の更新や、そのせり価格の更新を行うものとした。この他、売手が直接、記憶手段3への情報の入力や更新を行うものとしても実施可能である。この場合、売手もインターネットなどの通信回路7に接続された端末を有するものとし、このような売手の端末から、オークションの対象物の提示や、それに付随する情報の提示を行うものとするべし。

【0045】

【発明の効果】本願第1の発明の実施によって、入札が

ない場合、せり価格(せり値)を、当初の価格から徐々に減じて行くように変更するシステムを提供し得た。このため、購買可能な価格まで下がったときに、購買者は、入札の申出を行うことができる。即ち、確実に対象物を取得するためには、いち早く入札の申出を行う必要があり、システム運用者は、購買意欲の高い購買者に入札の申出のインセンティブを与えることを可能とした。通常のオークションでは、せり値は、上昇する方に動く。このため、せり値が上がることによって、購買のチャンスを失う購買者がでる。これに対して、このシステムでは、値下りする方向にせり値が動くので、価格が下がれば、購入可能となる購買者が現れる可能性を増大する。このため、当初人気のない対象物も、価格が下がって魅力的なものとなり、購買者の入札意欲を増大せしめることが可能である。従って、システム運用者にとっては、早期に完売したいものを、このシステムで円滑に処理することができる。本願発明は、このような従来にない面白いシステムを提供することによって、購買者の入札意欲を喚起し、オークションシステムの盛況を可能とした。

【0046】本願第2の発明の実施によって、本願第1の発明の奏する効果を奏すると共に、落札後の処理を円滑に行うことが可能となった。

【0047】本願第3の発明の実施によって、本願第1又は第2の発明の奏する効果を奏すると共に、流札した

際の、処理を円滑に行うことが可能となった。

【0048】本願第4の発明の実施によって、通常のオークションを行い、入札が無かった場合に、本願第1の発明と同様の、値下げオークションに移行することを可能とした。

【0049】本願第5の発明の実施によって、上記本願第1乃至第4の何れかの発明と同様の効果を得ると共に、購買者に対して、現在のせり価格に到達した時刻を提示することを可能とし、購買者にオークションの状況をより分かりやすく知らせることを可能とした。

【図面の簡単な説明】

【図1】本願発明に係るシステムの値下げオークションシステムの概要を示すブロック図である。

【図2】上記システムのハード構成を示す説明図である。

【図3】上記オークションの流れを示す説明図である。

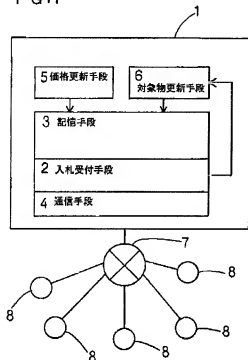
【図4】他の実施の形態の流れを示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 値下げオークションシステム
- 2 入札受付手段
- 3 記憶手段
- 4 通信手段
- 5 価格更新手段
- 6 対象物更新手段

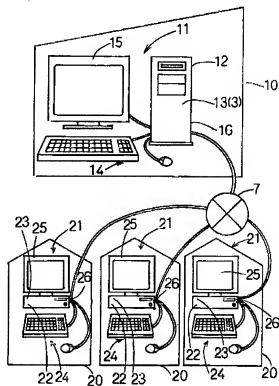
【図1】

F I G. 1



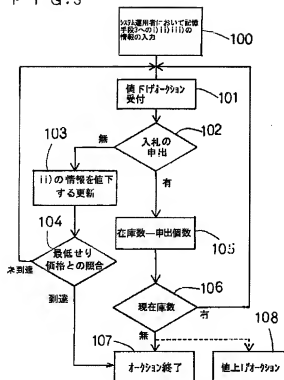
【図2】

F I G. 2



【図3】

F I G . 3



【図4】

F I G . 4

